



《長篠合戦図屏風》長浜城歴史博物館蔵



重要文化財《黒糸威胴丸具足》(鹿角脇立兜・小具足付) 本多忠勝所用 個人蔵



《鍾馗旗印》本多忠勝所用 個人蔵

「本多忠勝と桑名」展示品(一部)



桑名市指定文化財《本多忠勝画像》立坂神社蔵



令和元年度に千葉県大多喜町と共に行ったNHK大河ドラマの誘致活動(前列右から2人目が桑名市長)

慶長6年(1601年)に初代桑名藩主である本多忠勝が桑名に入封して、今年で420年になります。忠勝によって、「慶長の町割」と呼ばれるまちづくりが行われ、桑名城や城下町が整備されました。今でも、その当時にできた地名や街区が残っています。他にも、河川改修や用水路建設、新田開発など大規模な公共事業を行いました。市では、そのような忠勝の偉業をたたえ、桑名市の魅力を全国に発信するため、NHK大河ドラマの誘致や博物館での特別展示など、「忠勝プロジェクト」としてさまざまな事業を展開しています。

初代桑名藩主

# 本多忠勝入封420年

# 「忠勝プロジェクト」

桑名市博物館創設50年  
本多忠勝桑名入封420年特別企画展 令和3年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業



## 「本多忠勝と桑名」 10月23日(土) ~ 11月28日(日)

今から420年前、「慶長の町割」によって中世都市・桑名を近世城下町へと生まれ変わらせた本多忠勝。忠勝は、徳川四天王の一人として、長篠の合戦をはじめとする多くの戦いで活躍し、その武勇をたたえられました。また、千葉県の大多喜城など、城下町整備にも手腕を発揮した治世家でした。

乱世の英雄は、治世の能臣でもあったのです。今年が、桑名市博物館の前身・桑名市立文化美術館開館から50年という記念の年にあたることから、桑名市では初の公開となる国宝《刀 金象嵌銘 正宗 本阿(花押) / 本多中務所持(名物中務正宗)》をはじめとする国宝1件、重要文化財3件を含む本多家と桑名の結びつきを示す貴重な文化財約60件を一堂に集め、展覧します。

**場所** 博物館 ▷毎週月曜日は休館です。 **問** 博物館  
**開館** 午前9時30分から午後5時まで(入館は閉館の30分前) (☎ 21-3171 FAX 21-3173)  
**料金** 大人[高校生以上]500円、中学生以下無料 ▷20人以上の団体は1人100円引き  
博物館のメールマガジン購読者は、携帯画面またはプリントアウトしたものを見せれば、本人および同伴者1人まで100円引き  
▷この特別企画展は公益財団法人岡田文化財団から助成を受けています。

### 講演会「関ヶ原の戦いと本多家」

**とき** 11月13日(土) 午後1時30分~3時(開場:午後1時)  
**場所** NTNシティホール2階 小ホール  
▷新型コロナウイルス感染症の感染状況または、その他の社会情勢によって実施方法を変更する場合があります。  
**演題** 関ヶ原の戦いと本多家  
**講師** (株)歴史と文化の研究所 客員研究員 水野 伍貴さん  
**定員** 150人(先着順)  
**申込** 直接または、電話でブランド推進課へ。  
**開始** 10月11日(月) 午前9時  
**問** ブランド推進課 (☎ 24-1258 FAX 24-2474)

### 御城印を販売します!

10月6日(水)からは、本多家の家紋をあしらった桑名城の御城印の販売を、七里の渡しインフォメーションショップ「宿場の茶店 - (ハジメ)」や市物産観光案内所において300円で販売します。



忠勝プロジェクトに関するお問い合わせは、ブランド推進課へ(☎ 24-1258 FAX 24-2474)